

岩手県立盛岡青松支援学校 運営方針

1 教育目標

児童生徒が主体的に学習に取り組みながら、病気や障がいを乗り越え、希望をもって明るく強く生き抜く豊かな人間性を育む。

【校訓】

明 朗	(明るく元気な人)
自 主	(進んで学ぶ人)
創 造	(挑戦し考える人)

2 目指す学校像

- (1) 児童生徒が互いに心を磨き、活発に高め合う、温かく創造的な学校
- (2) すべての教職員が特別支援教育の専門性を高め、岩手県の病弱虚弱教育のセンター的役割を果たすと同時に、保護者及び地域社会から信頼される学校
- (3) 保護者や医療・福祉、労働等の関係機関及び地域社会と連携し、児童生徒の健全育成を目指す学校
- (4) 環境に対する関心を育み、地球と環境にやさしい学校
- (5) 教職員の融和と健康の維持・向上を図り、やりがいをもって勤務できる学校

3 運営方針

- (1) 児童生徒一人一人の自立と社会参加に向け、基本的な生活習慣の確立と基礎的・基本的な学力の確実な定着を図る。
- (2) 学部内及び学部間の連携を高め、より効果的な指導及び支援を実現する。
- (3) 病弱虚弱教育に関する専門性の向上を図り、岩手県の病弱虚弱教育の充実と発展を推進する。
- (4) 保護者や医療・福祉、労働等の関係機関及び地域社会との緊密な連携を保ち、教育活動の充実を図るとともに開かれた学校づくりに努める。
- (5) 児童生徒一人一人の生きる力を育むため、健康・安全教育の推進に努めるとともに、環境や災害に対する関心を高める。

4 本年度の重点目標と目標達成のための方策

- (1) 豊かな心を育み、基本的な生活習慣の確立と健康増進に努める。
 - ア 病気や障がいの理解とカウンセリング・マインドを活かした「心と体のケア」の充実
 - イ 児童会・生徒会活動、部活動等の活性化
 - ウ あいさつ運動の推進
 - エ 小学校、中学校、高等学校間の交流及び共同学習の推進
 - オ 安全教育、保健指導の充実
 - カ 体験的学習の工夫
 - キ 復興教育の推進

- (2) 一人一人が意欲をもち主体的に学習に取り組めるよう、授業及び教育課程の改善を進める。
- ア 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」「キャリアパスポート」等に基づいた支援と指導の充実
 - イ 授業研究の充実
 - ウ 各教科、学部等による授業評価の実施
 - エ 観点別評価及び授業改善の実施
 - オ 指導内容及び教材の精選、指導方法の工夫、ICTの効果的な活用
 - カ 家庭学習の計画的な実施
 - キ 学級編成、教育課程等の改善及び個々に合わせた実践の充実
- (3) 自分らしい生き方の実現に向け、必要な経験が積めるよう、段階を踏んだキャリア教育を充実させ、地域に貢献できる人材の育成を図る。
- ア キャリア教育の全体計画に基づき、各学部が連動した具体的な取組の推進
 - イ 「キャリアパスポート」等の活用に基づく自ら目標をもった進路選択・希望進路実現につながるよう、進路指導や外部関係機関との連携の重視
 - ウ 地域社会との関わりを意識させる指導の工夫
- (4) 特別支援教育の専門性向上のための研究及び研修を充実させる。
- ア 実践に直結する研究の推進
 - イ 「個別の指導計画」を活用した自立活動の充実
 - ウ 学識経験者等との連携による病状や障がいに関する研修会の実施
 - エ 各研修会への積極的な参加と研修報告会による校内への還元
 - オ 研究成果の効果的な活用
- (5) 病弱虚弱教育を行う特別支援学校の教師としての使命感をもち、地域や関係機関との連携を深めながら特色ある教育活動を推進する。
- ア みちのくこども療育センターとの連携の充実
 - イ 支援会議等による児童相談所、市町村の福祉担当者・教育委員会・医療機関等との共通理解と支援体制構築
 - ウ 地域の教育資源の活用と地域交流への積極的な参加推進
 - エ 開かれた学校づくりの推進
 - オ 表現活動への積極的な参加推進